

3月 27日

# わだおかつ子

最終号

重点目標「一歩ふみだす子」よりよく考え、主体的に行動する

## 令和6年度 卒業証書授与式 育ててくれた人へ感謝の手紙



3月19日、卒業証書授与式。27名の6年生が和田岡小学校を巣立っていきました。素直で、やさしく、たくましく成長した子どもたちの姿を万感の思いで見守りました。卒業生は、式の中で「旅立ちの言葉」として、在校生、地域の皆様、私たち教職員、そして、保護者の皆様に、とても素敵なメッセージを残してくれました。中でも代表の児童が読んでくれた保護者への手紙には涙がとまりませんでした。

お母さん、お父さん…。年中さんの頃、テレビでサッカーの試合を見ていた私は、突然、「私もサッカーやりたい」ってだだをこねましたね。するとお父さん、お母さんはすぐに私をクラブチームに入らせてくれた。それからの8年間は毎週末、練習の送迎をしてくれたり、応援に来てくれたりしましたね。別にサッカーに興味があったわけでもないのに、私のやりたいことを全力で後押ししてくれた二人に、本当に感謝しています。

小4の時、お母さんは「6年生になったらJFAアカデミー福島、受けてみたら。」と、勧めてくれましたね。私は今より高いレベルでサッカーが出来るかもしれないって興奮したし、私の夢を後押ししてくれるお母さんを喜ばせたかった。

だけど私、実力不足で二人の期待に応えられませんでした。悔しくて、悔しくて、そして、お母さん、お父さんに申し訳なくて涙が出ました。お母さん、ごめんね。

でも私はこれからこの貴重な経験をバネにして、今まで以上にがんばります。そして、将来、プロのサッカー選手になって世界で活躍します。だから見ていてください。お母さん、お父さん、今まで12年間ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

## 3年間お世話になりました ありがとうございます

卒業式前日の18日には修了式が行われました。1年間の学びを修めた159名を代表して登壇した6人の児童に、私から修了証書を手渡しました。担任の呼名に力強く応える声、胸を張り、堂々と証書を受け取る姿。とても立派でした。そして、そんな子どもたちの成長を、陰で支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様への感謝の気持ちを新たにいたしました。

今年は例年に比べてかなり気温が低かった終了式、卒業式。体育館のジェットヒーターを早朝からフル稼働させ、館内の温度をなんとか10度前後に保ちました。思えばこのジェットヒーターも、児童の学習環境がよくなるのならばと、リサイクルボックスの回収に協力してくださった、保護者や地域の皆様のおかげで購入できたものでした。ありがとうございます。今後もぜひ回収にご協力ください。

最後に、これでお別れとなりますので、少しだけ私の和田岡小での3年間の思いを書かせていただきます。初任から教頭を終えるまでの30年間、ズッと中学校に勤務していた私にとって小学校はまるで別世界、「夢の国」でした。思春期を迎える前の子どもたちの純粋さ、かわいさは私が想像していた以上で、部活動にのめり込むあまり、我が子の同時期を完全に見逃してしまったことを後悔するほどでした。そして、この美しい少年期が、児童一人ひとりにとってこの上なく幸福な時間となるために、小学校教育は、どうあるべきなのかと、問い続ける毎日でした。結果、私は和田岡小にしかないいくつかの取組を考えだし推進してきました。「一人ひとりの人権を尊び、個性を伸ばすひまわりの取組」「主体性を伸ばす自由な学校風土の醸成」「探究という新たな学びへの挑戦」。すべては志半ばで、完成を待たずここを去ることとなりますが、私の信頼する本校の先生方が私の意志を受け継いでいってくれるものと期待しています。さて、私はいつか、こうした和田岡小学校教育が評価され、今年度いくつかの教育賞を受賞したことを紹介しました。いただいたお金を使って、お世話になった和田岡小学校に何か残していこうと考え、校舎の3階に冷水機を設置しました。有効に活用していただければと思います。3年間お世話になりました。ありがとうございます。





